

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **10021304 A**

(43) Date of publication of application: **23.01.98**

(51) Int. Cl. **G06F 17/60**
G06F 17/00

(21) Application number: **08177698**

(22) Date of filing: **08.07.96**

(71) Applicant: **HITACHI LTD**

(72) Inventor: **YAGAWA YUICHI**
HORI KATSUSHI
UKAI HIROMI

(54) **ON-LINE SHOPPING SYSTEM**

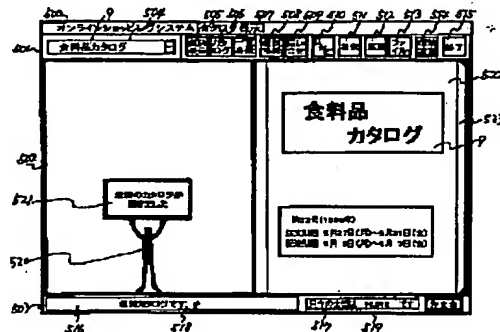
information can be acquired.

(57) Abstract:

COPYRIGHT: (C)1998,JPO

PROBLEM TO BE SOLVED: To make it possible to provide commodity information and order commodities through a network, to immediately acquire up-to-date commodity information and to sort and display the commodity information.

SOLUTION: A catalogue window 500 is composed of three areas, i.e., a menu bar 501 for starting the individual functions of an on-line shopping system, a commodity information display area 502 for displaying commodity information and a tool bar 503 for displaying agents and contents of order lists. When a user clicks a book thickness button (for toward turning) 523 by a mouse, commodity information is displayed by a catalogue display format. A commodity individual display format and a commodity name list display format are also prepared, and at the time of switching these three display formats, any one of an individual display button 505, a catalogue display button 506 and a table display button 507 is depressed. When an up-to-date information button 508 is depressed, catalogue up-to-date



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-21304

(43) 公開日 平成10年(1998) 1 月23日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 17/60			G 0 6 F 15/21	3 3 0
17/00			15/20	G

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 27 頁)

(21) 出願番号 特願平8-177698

(22) 出願日 平成8年(1996) 7 月 8 日

(71) 出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目 6 番地

(72) 発明者 矢川 雄一

神奈川県川崎市麻生区王禅寺1099番地 株

式会社日立製作所システム開発研究所内

(72) 発明者 堀 勝志

大阪府大阪市中央区北浜三丁目 5 番29号

日立中部ソフトウェア株式会社内

(72) 発明者 鶴飼 ひろみ

神奈川県川崎市麻生区王禅寺1099番地 株

式会社日立製作所システム開発研究所内

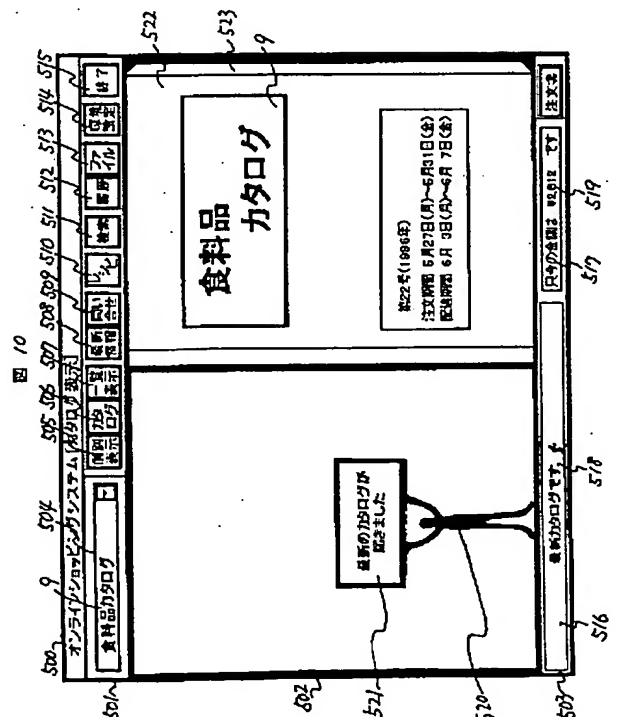
(74) 代理人 弁理士 小川 勝男

(54) 【発明の名称】 オンラインショッピングシステム

(57) 【要約】

【課題】 ネットワークを通じて、商品情報の提供及び商品の注文を可能とする。また、最新の商品情報を即座に入手する事を可能とする。また、商品情報の分類表示を可能とする。

【解決手段】 カタログウィンドウ500は3つの領域で構成されている。オンラインショッピングシステム1の個々の機能を起動するためのメニューバー501、商品情報を表示する商品情報表示領域502、エージェントの表示や注文書の内容表示を行うツールバー503である。ユーザが本の厚みボタン（順めくり用）523をマウスでクリックすると、商品情報がカタログ表示形式551で表示される。また他に、商品個別表示形式601と商品名一覧表示形式631があり、これら3つの表示形式を切替える時は、個別表示ボタン505・カタログ表示ボタン506・一覧表示ボタン507のいずれかを押下する。最新情報ボタン508を押下するとカタログ最新情報を取得する事ができる。



(2)

【特許請求の範囲】

【請求項1】商品に関する個別カタログを画面上に複数表示し、

上記個別カタログには商品名称と商品イメージと価格と発注単位を含むとともに、注文入力枠を設け、

上記注文入力枠に注文数を入力すると、画面上に設けられた合計金額表示領域に選択された商品の合計金額を表示することを特徴とするオンラインショッピングシステム。

【請求項2】上記表示において、商品が売切れの時は商品イメージに重畳して売切れである旨の表示をすると共に、上記注文入力枠の表示をしないことを特徴とするオンラインショッピングシステム。

【請求項3】上記個別カタログにはさらに売出しである旨の表示をするオンラインショッピングシステム。

【請求項4】上記処理の途中に、サーバから新たな情報が送られたらホームサービスエージェントでメッセージを発するオンラインショッピングシステム。

【請求項5】請求項1の処理に先立ち購入限度額を設定しておき、上記合計金額の合計値が購入限度額を越えたらメッセージを発するオンラインショッピングシステム。

【請求項6】請求項1において個別カタログ内に表示される商品イメージは商品の発注工数分表示することを特徴とするオンラインショッピングシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ネットワークを通じて、商品情報の提供及び注文を行うオンラインショッピングシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】近年のショッピングには、様々な形態がある。例えば、消費者が直接店舗に行って、その場で代金を支払い、商品を購入する方法がある。また、店員が直接消費者の家に行って注文を取り、後日、店員が消費者の注文した商品を消費者の家に運び、消費者はその場で代金を支払う方法もある。

【0003】また、通信販売の形態もあり、例えば、店舗から消費者の家へ紙のカタログを送付し、消費者がそのカタログを見て購入したい商品を探し、注文書を作成して店舗へ郵送する方法である。この方法では、後日宅配便にて、店舗から消費者の家へ商品が届き、代金は消費者の銀行口座から口座引き落としにて店舗へ支払う。

【0004】また、通信販売の他の形態として、店舗から、消費者の家へ紙のカタログを送付するのではなくネットワークを通じて商品情報を提供する方法がある。消費者は提供された商品情報を見て購入したい商品を探し、その場で注文セット数を入力してネットワークを通じて店舗に対し商品の注文を行う。この方法でも、後日宅配便にて、店舗から消費者の家へ商品が届き、代金は

消費者の銀行口座から口座引き落としにて店舗へ支払う。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】前記中の通信販売について、紙のカタログによる方法及びネットワークによる方法の2つについて、課題を説明する。

【0006】紙のカタログによる方法では、商品情報の見易さや親しみやすさの面では優れている。

【0007】その反面、カタログを作成するために大量の資源（紙）を消費する事、商品情報を消費者に届けるまでにある程度の時間を要する事、消費者の商品の注文が店舗に届くまでにある程度の時間を要する事、が問題点としてあげられる。

【0008】一方、ネットワークによる方法では、カタログを作成するための資源が少量である事、商品情報を消費者に即座に届ける事ができる事、消費者の商品の注文を即座に店舗に届ける事ができる事、が利点として上げられる。その反面、コンピュータの操作に慣れていない人にとっては、商品情報が見にくく理解しにくい事、商品の注文の操作がしにくい事、が問題点としてあげられる。

【0009】従って、本発明の目的は、紙のカタログとネットワークによる商品情報の提供の両方の利点を取り込んだ、オンラインショッピングシステムを提供することにある。

【0010】

【課題を解決するための手段】本発明によれば、画面上にアルバム形式のユーザーインターフェースを配置し、その上に商品情報（商品の写真、商品名、販売形態、価格）をレイアウトして表示するオンラインショッピングシステムが提供される。

【0011】また、本発明によれば、ユーザがアルバムのページをめくるイメージで商品情報の検索を行う事が可能な機能を含んだオンラインショッピングシステムが提供される。

【0012】また、本発明によれば、アルバム形式の商品情報の表示と同時に注文入力枠を設ける事により、ユーザが商品情報を検索しながら商品の注文セット数を注文入力枠に入力する事が可能なユーザーインターフェースを含んだオンラインショッピングシステムが提供される。

【0013】また、本発明によれば、ユーザが注文セット数を注文入力枠に入力後、商品の注文をネットワークを通じて行う事が可能な機能を含んだオンラインショッピングシステムが提供される。

【0014】また、本発明によれば、ユーザが商品の最新情報をネットワークを通じて取得する事が可能な機能を含んだオンラインショッピングシステムが提供される。

【0015】本発明によれば、アルバム形式の商品情報

(3)

の表示によって、ユーザにとって、商品情報が見易く、また、理解しやすくなる。

【0016】また、本発明によれば、ページめくり機能の搭載によって、ユーザにとって、商品情報の検索がしやすくなる。

【0017】また、本発明によれば、商品情報表示領域に注文入力枠を設けた事により、ユーザは商品情報を検索しながら商品の注文セット数を注文入力枠に入力する事ができ、効率の良い商品注文をする事ができる。

【0018】また、本発明によれば、商品の注文をネットワークを通じて行う機能の搭載によって、ユーザから商品情報提供元へ即座に商品注文情報を送付する事ができる。

【0019】また、本発明によれば、商品の最新情報をネットワークを通じて取得する機能の搭載によって、商品情報提供元からユーザへ即座に商品の最新情報を届ける事ができる。

【0020】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明の実施の形態を説明する。本実施の形態では、商品の例として食料品を取り上げている。

【0021】本実施の形態のデータ構造は、図1から図3に示すデータモデルを参考にして設計する。図1から図3は、各家庭のユーザのPCにインストールされているオンラインショッピングシステム1のデータモデルを示している。更に、オンラインショッピングシステム1は2種類のデータを持ち、図1と図2には、商店からユーザへ提供された商品情報のデータモデルを示し、図3には、ユーザの個人情報のデータモデルを示している。

【0022】オンラインショッピングシステム1は、図1に示すように、複数のカタログ2・お料理レシピ3・注文書4・購入履歴5・個人カタログ6から成る。

【0023】オンラインショッピングシステム1の1構成要素であるカタログ2は、複数の分類項目7・カタログI d 8・カタログタイトル9・カタログアイコン10・有効期間11・ホームページアドレス12から成る。また、カタログ2はカタログデータ17に対応し、図4はカタログデータ17のデータ構成を示すテーブルである。カタログI dはカタログI d 8に対応し、個々のカタログの識別番号を示すユニークな値である。カタログタイトルはカタログタイトル9に対応し、カタログ表紙522に表示されるタイトルの事である。カタログアイコンファイル名はカタログアイコン10に対応し、個々のカタログ2をイメージするアイコン画像のファイル名称を格納する。カタログアイコン10はアイコンライブラリ20に属する。有効期間開始及び有効期間終了は有効期間11に対応し、個々のカタログ2の有効期間を格納する。ホームページアドレスはホームページアドレス12に対応し、個々のカタログ2の関連情報を掲載したホームページのURLを格納する。

【0024】また、カタログ2の1構成要素である分類項目7は、複数のアイテム13・分類項目I d 14・分類項目タイトル15・分類項目アイコン16から成る。また、分類項目7は分類項目データ18に対応し、図5は分類項目データ18のデータ構成を示すテーブルである。分類項目I dは分類項目I d 14に対応し、個々の分類項目の識別番号を示すユニークな値である。分類項目タイトルは分類項目タイトル15に対応し、目次541に表示される項目名称の事である。

【0025】分類項目アイコンファイル名は分類項目アイコン16に対応し、個々の分類項目7をイメージするアイコン画像のファイル名称を格納する。分類項目アイコン16はアイコンライブラリ20に属する。また、カタログI dは図4のカタログI dと関連し、親の分類項目I dは図5の分類項目I dと関連する。

【0026】また、分類項目7の1構成要素であるアイテム13は、図2に示すように、アイテムI d 31・アイテムタイトル32・オリジナルデータ33・サムネール画像A 34・サムネール画像B 35・規格36・標準価格37・販売価格38・仕様39・更新日時40・買い物個数41・個人カタログ登録42から成る。更に、仕様39は、フラグ情報43・その他商品情報44・リンク情報45から成る。また、アイテム13はアイテムデータ19に対応し、図6はアイテムデータ19のデータ構成を示すテーブルである。アイテムI dはアイテムI d 31に対応し、個々のアイテムの識別番号を示すユニークな値である。アイテムタイトルはアイテムタイトル32に対応し、個々の商品の名称を示す。オリジナル画像ファイル名はオリジナルデータ33に対応し、個々の商品を写した静止画や動画を含むオリジナルデータファイル46の名称を格納する。

【0027】サムネール画像ファイル名1はサムネール画像A 34に、サムネール画像ファイル名2はサムネール画像B 35にそれぞれ対応し、オリジナルデータ33の縮小画像を含むサムネール画像ファイルAとサムネール画像ファイルBの名称を格納する。また、個々の商品の情報として、規格は規格36に、標準価格は標準価格37に、販売価格は販売価格38に、メッセージはその他商品情報44に対応している。フラグ情報はフラグ情報43に対応し、商品の取扱有無・お買い得・新登場・値下げ・売り切れの情報をフラグとして格納する。リンク情報はリンク情報45に対応し、個々の商品の関連情報（産地のホームページ・お料理レシピなど）を格納する。その他商品情報はその他商品情報44に対応し、産地・製造元・商品仕様などの情報を格納する。更新日時は更新日時40に対応し、個々のアイテム13の持つ情報が更新された日時を格納する。カタログI dは図4のカタログI dと関連し、分類項目I dは図5の分類項目I dと関連する。図1の買い物個数41と個人カタログ登録42は、ユーザが入力するデータであり、オンラインショッピングシステムがこれを注文書ファイル49と個人カタログファイルへそ

(4)

れぞれ出力する。

【0028】また、図1のオンラインショッピングシステム1の1構成要素であるお料理レシピ3は、お料理分類名称・お料理I d・お料理タイトル・お料理レシピ画像・コメント・材料・作り方から成る。

【0029】また、図1のオンラインショッピングシステム1の1構成要素である注文書4は、図3に示すように、複数のアイテム13から成る。更に、個々のアイテム13は、アイテムI d31・買い物個数41・買い物日時61から成る。また、注文書4は注文書データ49に対応し、図7は注文書データ49のデータ構成を示すテーブルである。アイテムI dはアイテムI d31に対応し、ユーザが買い物個数41を入力した時に、その商品のアイテムI d31を格納する。買い物個数は買い物個数41に対応し、ユーザが入力した個々の商品販売形態のセット数の事である。買い物日時は買い物日時61に対応し、ユーザが買い物個数41を入力した日時を格納する。

【0030】また、図1のオンラインショッピングシステム1の1構成要素である購入履歴5は、アイテムI d31・買い物日時61・買い物個数41・買い物金額から成る。

【0031】また、図1のオンラインショッピングシステム1の1構成要素である個人カタログ6は、図3に示すように、複数のアイテム13から成る。更に、個々のアイテム13は、アイテムI d31・登録日時62・いつものフラグ63・購入間隔64・購入個数65から成る。また、個人カタログ6は個人カタログデータ50に対応し、図8は個人カタログデータ50のデータ構成を示すテーブルである。アイテムI dはアイテムI d31に対応し、ユーザが個人カタログ登録42を行なった時に、その商品のアイテムI d31を格納する。登録日時は登録日時62に対応し、ユーザが個人カタログ登録42を行なった日時を格納する。いつものフラグはいつものフラグ63に対応し、ユーザが個々の商品を定期的に購入しているか否かを示すフラグの事である。いつものフラグ63がONになっている場合、オンラインショッピングシステムは購入間隔（購入間隔64に対応）と購入個数（購入個数65に対応）を格納する。

【0032】次に、本実施の形態におけるプログラムの処理を、図9に示すPADと、図10から図34に示す画面例に従って説明する。

【0033】＜＜オンラインショッピングシステム1の起動＞＞ 図9に示すように、ユーザがプログラムを起動すると、オンラインショッピングシステム1は初期化処理101・データベースオープン102・データのロード／テーブルの作成103・カタログ画面の作成／カタログ表紙の表示104を行なって、図10に示されるカタログウィンドウ500を表示する。

【0034】カタログウィンドウ500はメニューバー501・商品情報表示領域502・ツールバー503から成る。

【0035】更に、メニューバー501は目次504・個別表

示ボタン505・カタログボタン506・一覧表示ボタン507・最新情報ボタン508・問い合わせボタン509・レシピボタン510・検索ボタン511・履歴ボタン512・ファイルボタン513・環境設定ボタン514・終了ボタン515から成る。目次504はカタログタイトル9を表示する。

【0036】また、ツールバー503はエージェント待機領域516・注文書内容表示領域517から成る。エージェント待機領域516はカタログ案内エージェント518を表示する。また、注文書内容表示領域517は、現在の注文書に記載されている購入商品合計金額519を表示する。

【0037】また、商品情報表示領域502は、カタログ案内エージェント520・カタログ案内メッセージ521・カタログ表紙522・本の厚みボタン（順めくり用）523から成る。カタログ案内エージェント520とカタログ案内メッセージ521は表示されているカタログに関する情報（注文締切日など）を知らせる。カタログ表紙522はカタログタイトル9・カタログの号数・注文期間・配達期間を表示する。

【0038】＜＜目次504による検索＞＞ 図11に示すように、ユーザが目次504のプルダウンボタンをクリックすると、システムは目次ウィンドウ541をオープンする。目次ウィンドウ541はカタログタイトル9・カタログアイコン10・分類項目タイトル15・分類項目アイコン16から成る。ユーザが目次ウィンドウ541のいずれかのタイトルまたはアイコンをクリックすると、システムは目次504による検索処理108を起動し、該当分類の商品情報を先頭から商品情報表示領域502に表示する。

【0039】＜＜商品情報表示領域502への表示＞＞＜＜カタログ表示形式551＞＞ 図12に示すように、ユーザがカタログボタン506をクリックすると、システムはカタログ表示処理110を起動し、商品情報表示領域502に複数の商品をカタログのイメージで表示する（カタログ表示形式551）。カタログ表示形式551では、ユーザが本の厚みボタン（順めくり用）523または本の厚みボタン（逆めくり用）524をクリックすると、システムは本のページをめくると同様のイメージでカタログをページ方向または逆ページ方向にめくり、図13に示すように別の商品情報を表示する。また、ユーザが目次504による検索を行なった場合も、システムはこのようなページめくりの動作を行う。システムは、ページめくりの動作を行う時、カタログ表示処理110を起動する。

【0040】次に、カタログ表示処理110の詳細について説明する。システムはカタログ表示処理110を起動した時、本の台紙556・本の厚みボタン（順めくり用）523・本の厚みボタン（逆めくり用）524を形成し、商品情報表示枠552を配置する。次に、システムはデータベースよりアイテムデータ19と注文書データ49を1件ずつ読み込み、商品情報表示枠552上に商品情報を表示する。

【0041】商品情報表示方法には2通りの方法がある。システムはアイテムデータ19を読込んだ時、図6に

(5)

示すデータテーブル中のフラグ情報を判別する。フラグ情報には、特売553と新登場554に関する情報がある。特売553または新登場554がフラグによって示されている時、図12に示すように、システムは商品情報表示枠552上に1つのアイテム13の情報を表示する。また、特売553または新登場554がフラグによって示されていない時、図13に示すように、システムは商品情報表示枠552上に2つのアイテム13の情報を表示する。

【0042】次に、商品情報表示内容の詳細について、商品情報表示方法の2通りの方法に分けて説明する。特売553または新登場554の場合、システムは商品情報表示枠552上に、買い物個数41・サムネール画像B35・販売価格38・特売553または新登場554を示すアイコンを表示する。買い物個数41は、図7（注文書データ49のデータテーブル）の買物個数より読み込み編集して表示する。サムネール画像B35は、図6（アイテムデータ19のデータテーブル）のサムネール画像ファイル名2より内容を判断して、該当するサムネール画像ファイルB48を読み込み表示する。画像にはあらかじめアイテムタイトル32と規格36が記述されている。販売価格38は、図6の販売価格より読み込み編集して表示する。特売553または新登場554は、図6のフラグ情報より内容を判断して、該当するアイコンを表示する。

【0043】特売553または新登場554でない場合、システムは商品情報表示枠552上に、買い物個数41・サムネール画像A34・販売価格38を表示する。買い物個数41は、特売553または新登場554と表示方法は同じである。サムネール画像A34は、図6（アイテムデータ19のデータテーブル）のサムネール画像ファイル名1より内容を判断して、該当するサムネール画像ファイルA47を読み込み表示する。画像にはあらかじめアイテムタイトル32と規格36が記述されている。販売価格38は、特売553または新登場554と表示方法は同じである。

【0044】次に、カタログ表示形式551に属する他の2つの機能について説明をする。1つは購入個数入力機能である。図13に示されるように、ユーザが買い物個数41の上でマウスボタンを押下すると、システムは個数入力ウィンドウ555をポップアップ表示する。ユーザがマウスボタンを押したまま、個数入力ウィンドウ555上でマウスを動かすことによって買い物個数41にセットする値を選択する。ユーザがマウスボタンを離すとシステムは買い物個数41にユーザが選択した値をセットする。この際システムは、図7（注文書データ49のデータテーブル）の買物個数をユーザが選択した値に更新する。

【0045】もう一つは予算オーバー通知機能である。ユーザはシステムに対して、図14に示される購入商品合計金額519の上限値を、あらかじめ設定しておく。ユーザが買い物個数41の入力操作を行うと、システムは購入商品合計金額519を更新する。購入商品合計金額519の値がユーザの設定した上限値を超えた場合、システム

は、注文書内容表示領域519を反転表示して予算オーバー通知エージェント557を表示する。

【0046】＜商品個別表示形式601＞ 図15に示すように、ユーザが個別表示ボタン505をクリックすると、システムは商品個別表示処理109を起動し、商品情報表示領域502に1つの商品を商品に関する詳細情報とともに表示する（商品個別表示形式601）。商品個別表示形式601では、ユーザが商品情報選択タブ605をクリックすると、システムは別の商品情報を表示する。また、ユーザが目次504による検索を行なった場合も、システムは、図16に示すように別の商品情報を表示する。システムは、別の商品情報を表示する時、商品個別表示処理109を起動する。

【0047】次に、商品個別表示処理109の詳細について説明する。システムは商品個別表示処理109を起動した時、商品情報選択タブ605・商品情報表示枠A602・商品情報表示枠B603・商品情報表示枠C604を配置する。次に、システムはデータベースよりアイテムデータ19と注文書データ49を1件読み込み、商品情報表示枠A602・商品情報表示枠B603・商品情報表示枠C604上に商品情報を表示する。

【0048】次に、商品情報表示内容の詳細について、説明する。システムは商品情報表示枠A602上に、買い物個数41・アイテムタイトル32・規格36・オリジナルデータ33・販売価格38・特売553または新登場554を示すアイコンを表示する。買い物個数41・販売価格38・特売553または新登場554を示すアイコンの表示内容及び表示方法は、カタログ表示形式551の場合と同じである。アイテムタイトル32は、図6（アイテムデータ19のデータテーブル）のアイテムタイトルより読み込み編集して表示する。規格36は、図6の規格より読み込み編集して表示する。オリジナルデータ33は、図6のオリジナル画像ファイル名より内容を判断して、該当するオリジナルデータファイル46を読み込み表示する。

【0049】また、システムは商品情報表示枠B603上に、その他商品情報44・リンク情報45を表示する。

【0050】その他商品情報44は、図6のその他商品情報より読み込み編集して表示する。リンク情報45は、図6のリンク情報より読み込み編集して表示する。ユーザがリンク情報45をクリックすると、システムは販売商品に関する関連情報（お料理レシピ、ホームページ）を掲載したウィンドウを表示する。

【0051】また、システムは商品情報表示枠C604上に、メッセージ606を表示する。メッセージ606は、図6のメッセージより読み込み編集して表示する。

【0052】また他に、商品個別表示形式601には、カタログ表示形式551と同様に、図16に示すような購入個数入力機能と図14に示すような予算オーバー通知機能がある。

【0053】＜商品名一覧表示形式631＞ 図17に示

(6)

すように、ユーザが一覧表示ボタン507をクリックすると、システムは商品名一覧表示処理111を起動し、商品情報表示領域502に1つの分類項目7に該当する商品情報を一覧表示形式で表示する（商品名一覧表示形式631）。商品名一覧表示形式631では、ユーザが目次504による検索を行なった場合、システムは、別の分類項目7に該当する商品情報を表示する。

【0054】システムは、別の商品情報を表示する時、商品名一覧表示処理111を起動する。

【0055】次に、商品名一覧表示処理111の詳細について説明する。システムは商品名一覧表示処理111を起動した時、一覧表の枠を形成する。次に、システムはデータベースよりアイテムデータ19と注文書データ49を1件ずつ読み込み、一覧表に商品情報を表示する。

【0056】次に、商品情報表示内容の詳細について、説明する。システムは一覧表に、買い物個数41・アイテムタイトル32・規格36・販売価格38・特売553または新登場554を示すアイコンを表示する。買い物個数41・アイテムタイトル32・規格36・販売価格38・特売553または新登場554を示すアイコンの表示内容及び表示方法は、カタログ表示形式551や商品個別表示形式601の場合と同じである。

【0057】また他に、商品名一覧表示形式631には、カタログ表示形式551や商品個別表示形式601と同様に、図17に示すような購入個数入力機能と図14に示すような予算オーバー通知機能がある。

【0058】＜＜注文書表示ウィンドウ651の表示及び購入商品の注文＞＞ ユーザが図17に示される注文書ボタン632を押下すると、システムは注文書表示処理123を起動し、図18に示されるように、ユーザが購入する商品の情報を表示した注文書ウィンドウ651をオープンする。注文書ウィンドウ651は、並べ替えリスト652・購入商品情報表示領域653・購入商品合計金額表示領域654・選択商品の表示ボタン655・カタログへ戻るボタン656・注文ボタン657から成る。購入商品情報表示領域653は更に、買い物個数41・アイテムタイトル32・規格36・販売価格38・買い物金額658から成る。また、購入商品合計金額表示領域654には購入商品合計金額519を表示する。

【0059】次に、各構成要素の詳細について説明する。並べ替えリスト652は購入商品情報表示領域653の並べ替え表示に関する情報を含み、システムはこれをプルダウンリストに表示する。ユーザがプルダウンリストの情報をクリックすると、システムは購入商品情報表示領域653の並べ替え表示を行う。

【0060】購入商品情報表示領域653中の買い物個数41・アイテムタイトル32・規格36・販売価格38の表示内容及び表示方法は、カタログ表示形式551・商品個別表示形式601・商品名一覧表示形式631の場合と同じである。買い物金額658は、システムが、買い物個数41と販

売価格38から計算して表示する。買い物個数41は、ユーザがマウスクリックによって値を変更する事ができる。変更方法はカタログ表示形式551・商品個別表示形式601・商品名一覧表示形式631の購入個数入力機能と同じである。

【0061】ユーザが購入商品情報表示領域653中の1つの商品情報をマウスクリックによって選択し、選択商品の表示ボタン655を押下すると、システムは注文書ウィンドウ651を閉じ、ユーザが選択した商品情報を商品個別表示形式601で表示する。

【0062】また、ユーザがカタログへ戻るボタン656を押下すると、システムは注文書ウィンドウ651を閉じ、カタログウィンドウ500をアクティブにする。

【0063】次に、商品の注文方法について説明する。ユーザが注文ボタン657を押下すると、システムは購入商品情報表示領域653に表示されている商品情報をサーバへ送信して商品の注文を行う。

【0064】システムは、商品の注文が完了しサーバから注文結果が返ってくると、図19に示されるように注文内容確認ウィンドウ661を表示する。ユーザがOKボタン662を押下すると、システムは注文内容確認ウィンドウ661を閉じ、カタログウィンドウ500をアクティブにする。

【0065】＜＜エージェントの表示＞＞＜お買物提案エージェントウィンドウ671の表示＞

ユーザが図17に示される買物提案エージェント633をマウスでクリックすると、システムは買物提案エージェント処理120を起動し、商品情報データベース及び個人情報データベースを解析して、図20に示されるようにお買物提案エージェントウィンドウ671をオープンする。

【0066】お買物提案エージェントウィンドウ671は、提案メッセージ672・提案商品673・提案理由674・商品詳細表示ボタン675・スクロールボタン676・閉じるボタン677から成る。

【0067】次に、各構成要素の詳細について説明する。提案メッセージ672は、買物提案における最初のメッセージを表示する。

【0068】提案商品673は、提案する商品の名称（アイテムタイトル32）を表示する。

【0069】提案理由674は、提案する商品の提案理由を表示する。

【0070】ユーザが商品詳細表示ボタン675を押下すると、システムはお買物提案エージェントウィンドウ671を閉じ、提案されている商品の情報を商品個別表示形式601で表示する。

【0071】ユーザがスクロールボタン676を押下すると、システムは提案する商品を別の商品に切り替える。

【0072】ユーザが閉じるボタン677を押下すると、システムはお買物提案エージェントウィンドウ671を閉

(7)

じ、カタログウィンドウ500をアクティブにする。

【0073】<お買物相談エージェントウィンドウ681の表示> ユーザが図17に示される買物相談エージェント634をマウスでクリックすると、システムは買物相談エージェント処理121を起動し、商品情報データベース及び個人情報データベースを解析して、図21に示されるようにお買物相談エージェントウィンドウ681をオープンする。

【0074】お買物相談エージェントウィンドウ681は、相談メッセージ682・質問ボタン683・回答684・閉じるボタン685から成る。

【0075】次に、各構成要素の詳細について説明する。相談メッセージ682は、買物相談における最初のメッセージを相談対象の商品の名称（アイテムタイトル32）と併せて表示する。

【0076】ユーザが質問ボタン683を押下すると、システムは回答684を表示する。

【0077】ユーザが閉じるボタン685を押下すると、システムはお買物相談エージェントウィンドウ681を閉じ、カタログウィンドウ500をアクティブにする。

【0078】<<カタログ最新情報の入手>><カタログ最新情報の表示> 図22に示されるように、ユーザが最新情報ボタン508をマウスでクリックすると、システムは最新情報取得処理112を起動し、サーバからの情報取得を開始して商品情報表示領域502にカタログ最新情報入手通知メッセージ701を表示する。システムはカタログ最新情報の入手を完了すると、フラグ情報43（図6のアイテムデータ19のテーブルではフラグ情報に対応）を更新する。次にシステムは、図23から図25に示されるように、カタログ最新情報入手通知メッセージ701を消去して、図6のフラグ情報を判定し値下げ702または売切れ703の情報を商品情報表示領域502に表示する。

【0079】カタログ表示形式551の場合、図23に示されるようにシステムは、値下げ702または売切れ703の情報を、個々の商品の画像上（サムネール画像A34またはサムネール画像B35）に表示する。また、売切れ703の情報を表示した場合、システムは買い物個数41を非表示にする。

【0080】商品個別表示形式601の場合、図24に示されるようにシステムは、値下げ702または売切れ703の情報を、個々の商品の画像上（オリジナルデータ33）に表示する。また、売切れ703の情報を表示した場合、システムは買い物個数41を非表示にする。

【0081】商品名一覧表示形式631の場合、図25に示されるようにシステムは、値下げ702の情報を販売価格38の左側に、売切れ703の情報を買い物個数41の領域上に表示する。

【0082】<カタログ最新情報案内エージェントウィンドウ712の表示> システムは、カタログ最新情報の

入手を完了すると、図26に示されるように、エージェント待機領域516上に最新情報エージェント711を表示する。次に、ユーザがエージェント待機領域516をマウスでクリックすると、図27に示されるようにシステムは、最新情報エージェント処理122を起動し、商品情報データベース及び個人情報データベースを解析して、カタログ最新情報案内エージェントウィンドウ712をオープンする。カタログ最新情報案内エージェントウィンドウ712は、案内メッセージ713・値下げ商品一覧714・売切れ商品一覧715・閉じるボタン716から成る。

【0083】次に、各構成要素の詳細について説明する。案内メッセージ713は、カタログ最新情報案内における最初のメッセージを表示する。

【0084】値下げ商品一覧714は、システムが図6（アイテムデータ19のテーブル）のフラグ情報を判別し、値下げ702がフラグによって示されているアイテム13を抽出して、アイテムタイトル32・規格36・販売価格38を一覧表形式で表示する。その時システムは、値下げ商品一覧714の中で注文書4に登録されている商品について、反転表示をする。

【0085】売切れ商品一覧715は、システムが図6のフラグ情報を判別し、売切れ703がフラグによって示されているアイテム13を抽出して、アイテムタイトル32・規格36・販売価格38を一覧表形式で表示する。その時システムは、売切れ商品一覧715の中で注文書4に登録されている商品について、反転表示をする。

【0086】また、ユーザが閉じるボタン716を押下すると、システムはカタログ最新情報案内エージェントウィンドウ712を閉じる。

【0087】この時、図27に示されるように、売切れ商品一覧715の中で注文書4に登録されている商品があった場合、システムは買物メモ登録提案ウィンドウ717をオープンする。次に、ユーザが登録するボタン718を押下すると、売切れ商品一覧715中の注文書4登録商品を買物メモに登録し、注文書4から削除する。ユーザが登録しないボタン719を押下すると、買物メモ登録を行なわないまま、注文書4から削除する。注文書4からデータ削除後、システムは買物メモ登録提案ウィンドウ717を閉じ、カタログウィンドウ500をアクティブにする。

【0088】<お買物提案エージェントウィンドウ671の表示> ユーザが買物メモ登録を行った場合、システムは図29に示されるように、エージェント待機領域516上の買物提案エージェント633をアクティブにする。この時にユーザが、買物提案エージェント633をマウスクリックすると、システムは買物提案エージェント処理120を起動し、図30に示されるように、お買物提案エージェントのウィンドウ671をオープンし代替品の購入をすすめるメッセージを表示する。

【0089】<<お料理レシピの参照>> ユーザが図1に示されるレシピボタン510を押下すると、システム

(8)

はお料理レシピ表示処理114を起動し、図31に示されるように、お料理レシピウィンドウ731をオープンする。

【0090】お料理レシピウィンドウ731は、分類リスト732・お料理レシピ選択タブ733・お料理レシピ表示領域734から成る。更に、お料理レシピ表示領域734は、お料理タイトル735・お料理レシピ画像736・コメント737・材料738・作り方739から成る。

【0091】次に、各構成要素の詳細について説明する。ユーザが、分類リスト732をマウスでクリックすると、お料理分類名称がプルダウンリストに一覧表示される。ユーザが、表示された情報をマウスでクリックすると、お料理レシピが分類ごとに表示される。

【0092】ユーザが、お料理レシピ選択タブ733をマウスでクリックすると、表示するお料理レシピが別のものに切り替えられる。

【0093】材料738は、名称及び必要な量を一覧表示する。この中で、システムは商品情報データベースにあるものについて強調表示をする。ユーザが強調表示部分をクリックすると、システムはお料理レシピウィンドウ731を閉じ、強調表示商品の情報を商品個別表示形式601で表示する。

【0094】作り方739は、説明を一覧表示する。また、ユーザが各説明の先頭にあるボタンを押下すると、システムは実際に作っている場面を動画で表示する。

【0095】<<購入履歴の参照>> ユーザが図1に示される履歴ボタン512を押下すると、システムは購入履歴表示処理116を起動し、図32に示されるように、購入履歴表示ウィンドウ751をオープンする。システムは、購入履歴表示ウィンドウ751に、ユーザが過去に注文した商品の情報を表示する。

【0096】購入履歴表示ウィンドウ751は、並べ替えリスト752・表示購入期間選択リスト753・表示商品名選択リスト754・購入日付選択タブ755・購入履歴表示領域756・選択商品の表示ボタン757・カタログへ戻るボタン758から成る。更に、購入履歴表示領域756は、アイテムタイトル32・規格36・販売価格38・買い物個数41・買い物金額658から成る。

【0097】次に、各構成要素の詳細について説明する。並べ替えリスト752・選択商品の表示ボタン757・カタログへ戻るボタン758の機能は、図18の注文書表示ウィンドウ651にある並べ替えリスト652・選択商品の表示ボタン655・カタログへ戻るボタン656と、同じである。

【0098】ユーザが表示購入期間選択リスト753をマウスでクリックすると、システムは購入済商品情報の表示購入期間に関する情報をプルダウンリストに一覧表示する。ユーザが表示された情報をマウスでクリックすると、システムは選択された期間に該当する買い物日時61の購入済商品情報を表示する。

【0099】表示商品名選択リスト754は表示購入期間選択リスト753と機能が同様であり、ユーザが購入済商品情報の表示商品名を選択すると、システムは選択された表示商品名に該当するアイテムタイトル32の購入済商品情報を表示する。

【0100】ユーザが購入日付選択タブ755をマウスでクリックすると、システムは表示する購入済商品情報の買い物日時61を別の日付に切り替える。

【0101】<<個人カタログの参照>> ユーザが図1に示されるファイルボタン513を押下すると、システムは個人カタログ表示処理117を起動し、図33に示されるように、ユーザが個人カタログ登録を行なった商品の情報を表示した個人カタログ表示ウィンドウ771をオープンする。

【0102】個人カタログ表示ウィンドウ771は、並べ替えリスト772・個人カタログ表示領域773・選択商品の表示ボタン774・カタログへ戻るボタン775・個人カタログの追加／削除ボタン776・いつものリストの追加／削除ボタン777から成る。個人カタログ表示領域773は更に、買い物個数41・アイテムタイトル32・規格36・販売価格38・いつものフラグ63・購入間隔64・購入個数65から成る。

【0103】次に、各構成要素の詳細について説明する。並べ替えリスト772・選択商品の表示ボタン774・カタログへ戻るボタン775の機能は、図18の注文書表示ウィンドウ651にある並べ替えリスト652・選択商品の表示ボタン655・カタログへ戻るボタン656と、同じである。

【0104】ユーザが個人カタログの追加／削除ボタン776を押下すると、システムは個人カタログの追加／削除をするためのウィンドウを開く。

【0105】ユーザがいつものリストの追加／削除ボタン777を押下すると、システムはいつものリストの追加／削除をするためのウィンドウを開く。

【0106】個人カタログ表示領域773中の買い物個数41・アイテムタイトル32・規格36・販売価格38の表示内容及び表示方法は、カタログ表示形式551・商品個別表示形式601・商品名一覧表示形式631の場合と同じである。買い物個数41は、ユーザがマウスクリックによって値を変更する事ができる。変更方法はカタログ表示形式551・商品個別表示形式601・商品名一覧表示形式631の購入個数入力機能と同じである。

【0107】いつものフラグ63は、図8のいつものフラグより読み込みフラグがONになっている場合、購入間隔の左側にその旨をアイコン形式で表示する。

【0108】また、システムがいつものフラグ63をアイコン形式で表示した時、同時に購入間隔64・購入個数65も図8の購入間隔・購入個数より読み込み、編集して表示する。

【0109】<<オンラインショッピングシステム1の

(9)

その他の処理>> 図9に示す処理の中で、これまでの記述の中で説明しなかった処理について、ここで説明する。ユーザが図1の問い合わせボタン509を押下すると、システムは問い合わせ処理113を起動する。

【0110】ユーザが図1の検索ボタン511を押下すると、システムは商品名検索処理115を起動する。ユーザが図1の環境設定ボタン514を押下すると、システムは環境設定処理118を起動する。

【0111】<<オンラインショッピングシステム1の終了>> 図34に示されるように、ユーザが終了ボタン515をクリックすると、システムは終了処理125を起動し、オンラインショッピングシステム1を終了する。

【0112】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、ユーザは商品情報を見ながら商品の注文を即座に行う事ができる。また、商品情報はアルバム形式で表示されており、かつ、種類毎に分類されているので、ユーザは商品情報の内容を即座に検索する事や理解する事ができる。

【0113】さらに、本発明によれば、ユーザは、商品の注文セット数を入力しながら、注文商品の合計金額を即座に把握することができる。

【0114】さらに、本発明によれば、エージェントの搭載により、ユーザは、経済的にも時間的にも効率の良いショッピングをする事ができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】オンラインショッピングシステムのデータモデルを表す説明図。

【図2】オンラインショッピングシステムのデータモデルを表す説明図。

【図3】オンラインショッピングシステムのデータモデルを表す説明図。

【図4】カタログデータのテーブルを表す説明図。

【図5】分類項目データのテーブルを表す説明図。

【図6】アイテムデータのテーブルを表す説明図。

【図7】注文書データのテーブルを表す説明図。

【図8】個人カタログデータのテーブルを表す説明図。

【図9】オンラインショッピングシステムのプログラム処理フローを表す説明図。

【図10】オンラインショッピングシステムが起動された時の画面を表す説明図。

【図11】目次がオープンされた時の画面を表す説明図。

【図12】カタログ表示形式の画面を表す説明図。

【図13】個数ウィンドウがオープンされた時の画面を表す説明図。

【図14】予算オーバー通知エージェントが表示された時の画面を表す説明図。

【図15】商品個別表示形式の画面を表す説明図。

【図16】個数ウィンドウがオープンされた時の画面を

表す説明図。

【図17】商品名一覧表示形式の画面を表す説明図。

【図18】注文書ウィンドウが表示された時の画面を表す説明図。

【図19】注文内容確認ウィンドウが表示された時の画面を表す説明図。

【図20】お買物提案エージェントウィンドウが表示された時の画面を表す説明図。

【図21】お買物相談エージェントウィンドウが表示された時の画面を表す説明図。

【図22】カタログ最新情報取得中の画面を表す説明図。

【図23】売切れ・値下げの情報が表示された時の画面を表す説明図。

【図24】売切れ・値下げの情報が表示された時の画面を表す説明図。

【図25】売切れ・値下げの情報が表示された時の画面を表す説明図。

【図26】最新情報エージェントが表示された時の画面を表す説明図。

【図27】カタログ最新情報案内エージェントウィンドウが表示された時の画面を表す説明図。

【図28】買物メモ登録提案ウィンドウが表示された時の画面を表す説明図。

【図29】買物提案エージェントがアクティブになった時の画面を表す説明図。

【図30】お買物提案エージェントウィンドウが表示された時の画面を表す説明図。

【図31】お料理レシピ表示ウィンドウが表示された時の画面を表す説明図。

【図32】購入履歴表示ウィンドウが表示された時の画面を表す説明図。

【図33】個人カタログ表示ウィンドウが表示された時の画面を表す説明図。

【図34】カタログの本が閉じられた時の画面を表す説明図。

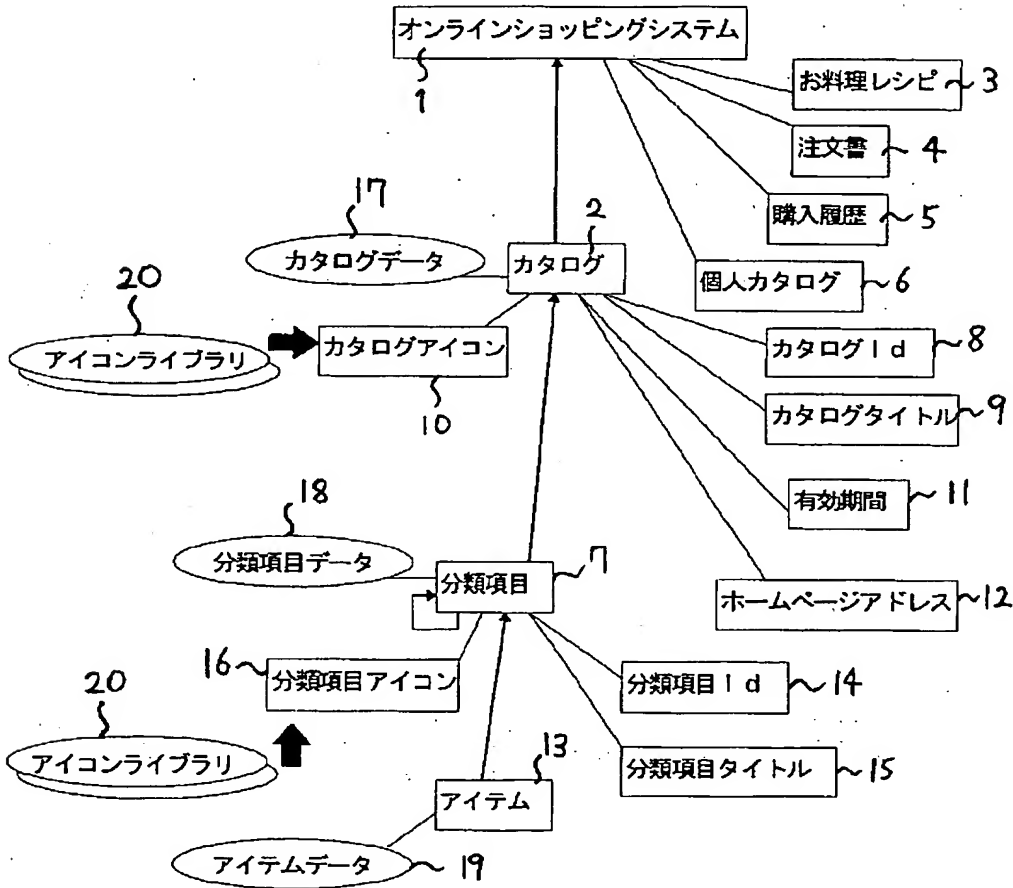
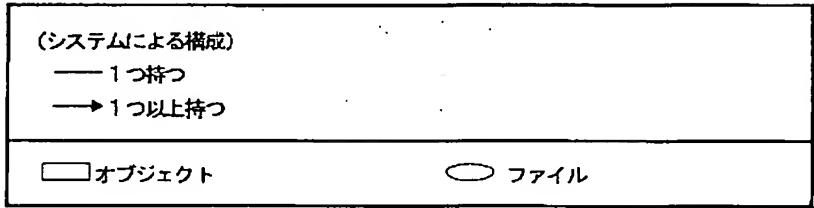
【符号の説明】

500…カタログウィンドウ、501…メニューバー、502…商品情報表示領域、503…ツールバー、504…目次、505…個別表示ボタン、506…カタログ表示ボタン、507…一覧表示ボタン、508…最新情報ボタン、509…問い合わせボタン、510…レシピボタン、511…検索ボタン、512…履歴ボタン、513…ファイルボタン、514…環境設定ボタン、515…終了ボタン、516…エージェント待機領域、517…注文書内容表示領域、518…カタログ案内エージェント、519…購入商品合計金額、520…カタログ案内エージェント、521…カタログ案内メッセージ、522…カタログ表紙、523…本の厚みボタン（順めくり用）

(10)

【図1】

図1



【図7】

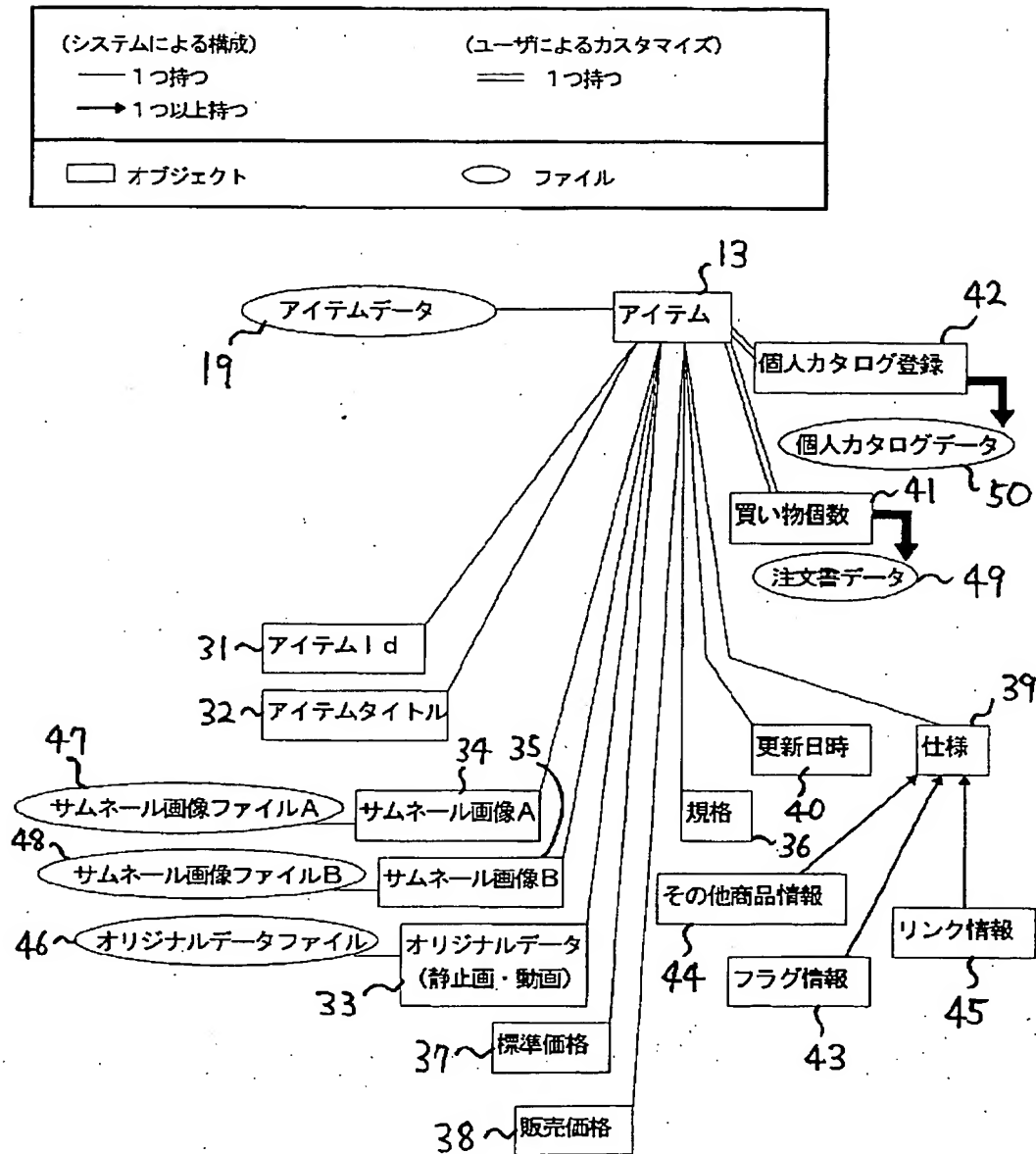
図7

フィールド名称	データ型
アイテムI d	長整数型
買物割数	長整数型
買物日時	日付型

(11)

【図2】

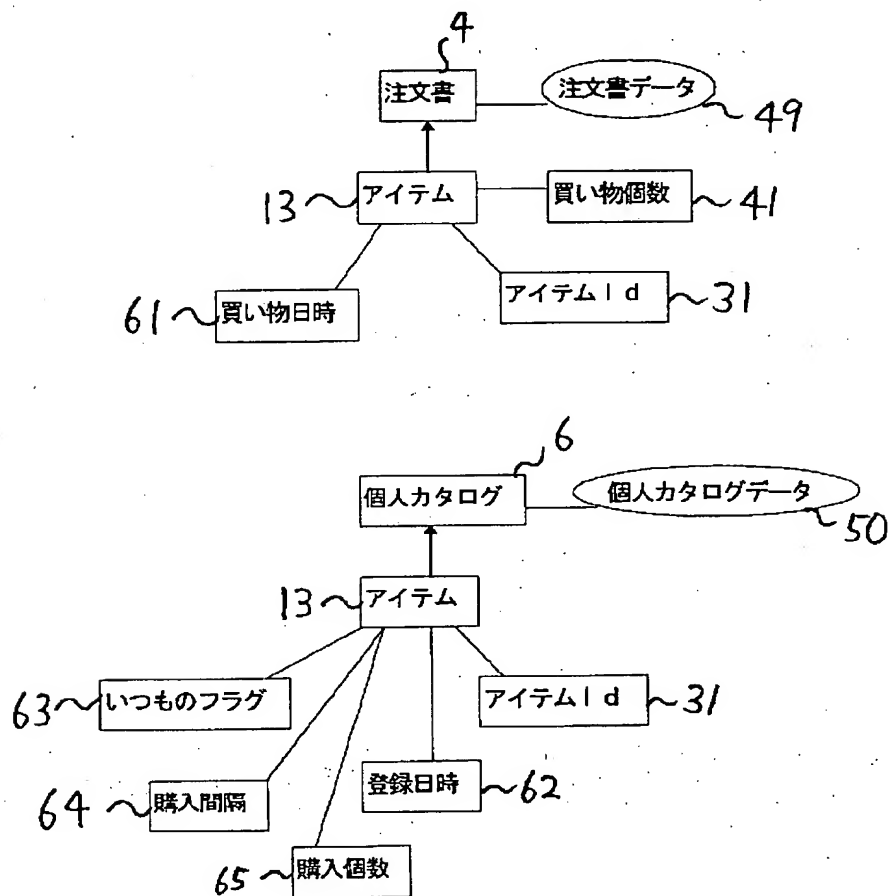
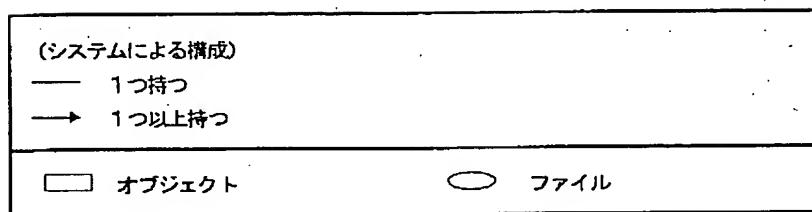
図 2



(12)

【図3】

図3



(13)

【図4】

図 4

フィールド名称	データ型
カタログid	長整数型
カタログタイトル	文字列型(32)
カタログアイコンファイル名	文字列型(16)
有効期間開始	日付型
有効期間終了	日付型
ホームページアドレス	文字列型(128)

【図5】

図 5

フィールド名称	データ型
分類項目id	長整数型
カタログid	長整数型
親の分類項目id	長整数型
分類項目タイトル	文字列型(32)
分類項目アイコンファイル名	文字列型(16)

【図6】

図 6

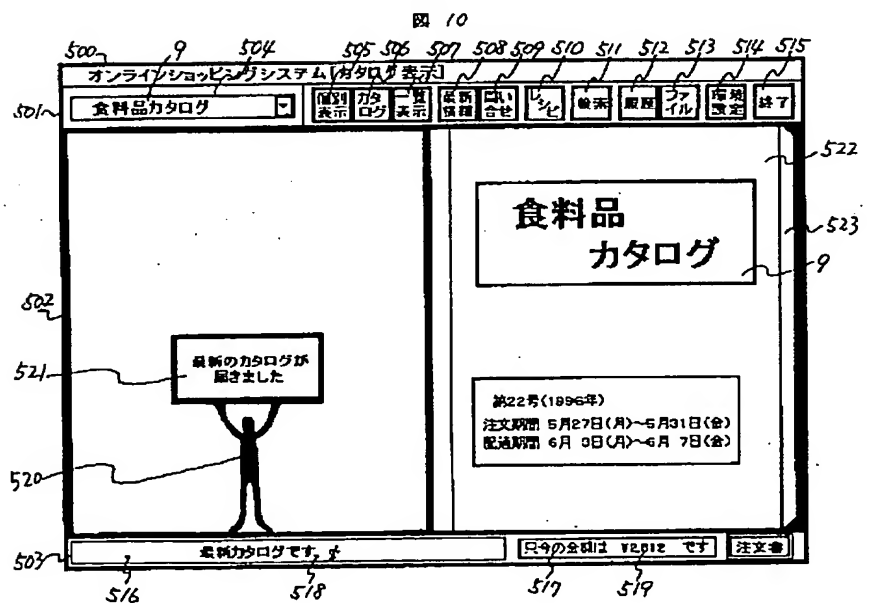
フィールド名称	データ型
アイテムid	長整数型
カタログid	長整数型
分類項目id	長整数型
アイテムタイトル	文字列型(32)
オリジナル画像ファイル名	文字列型(16)
サムネール画像ファイル名1	文字列型(16)
サムネール画像ファイル名2	文字列型(16)
規格	文字列型(32)
標準価格	長整数型
販売価格	長整数型
メッセージ	文字列型(128)
フラグ情報	長整数型
リンク情報	文字列型(254)
その他商品情報	文字列型(254)
更新日時	日付型

【図8】

図 8

フィールド名称	データ型
アイテムid	長整数型
登録日時	日付型
いつものフラグ	長整数型
購入回数	長整数型
購入履歴	長整数型

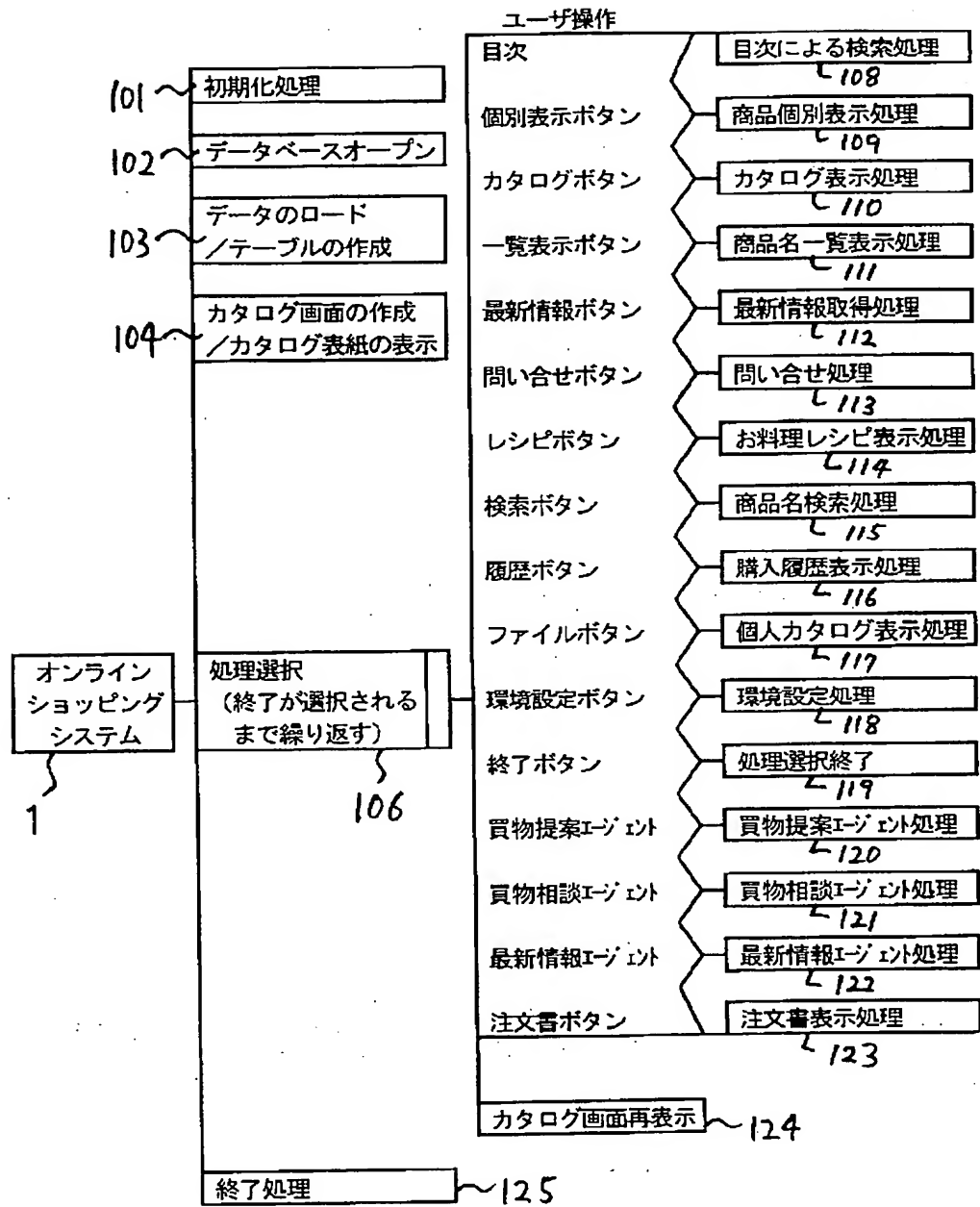
【図10】



(14)

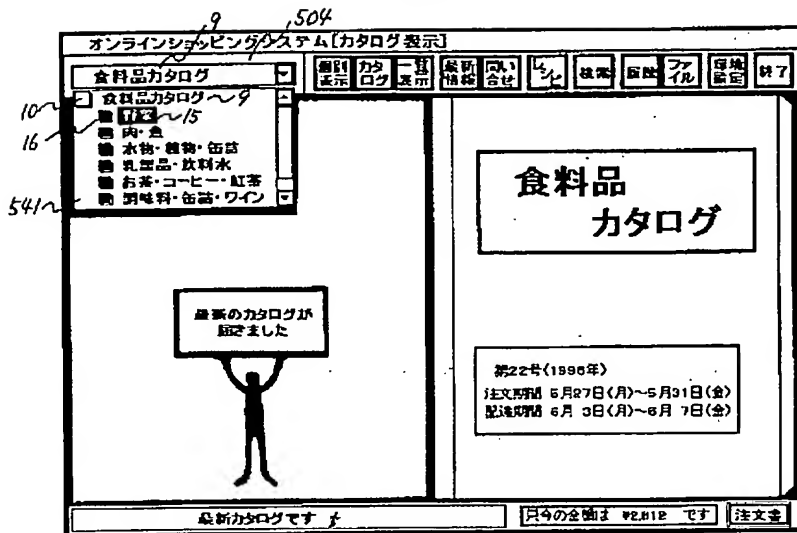
【図9】

図 9

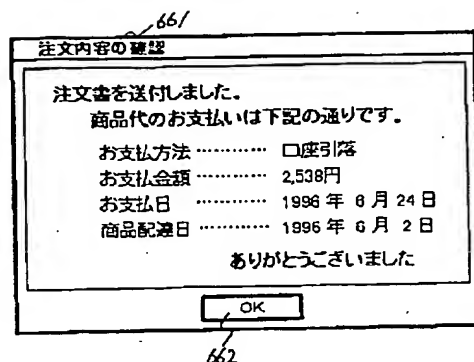


(15)

【図11】



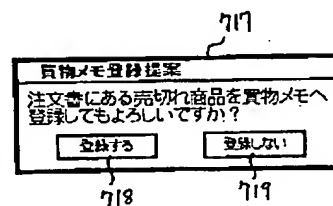
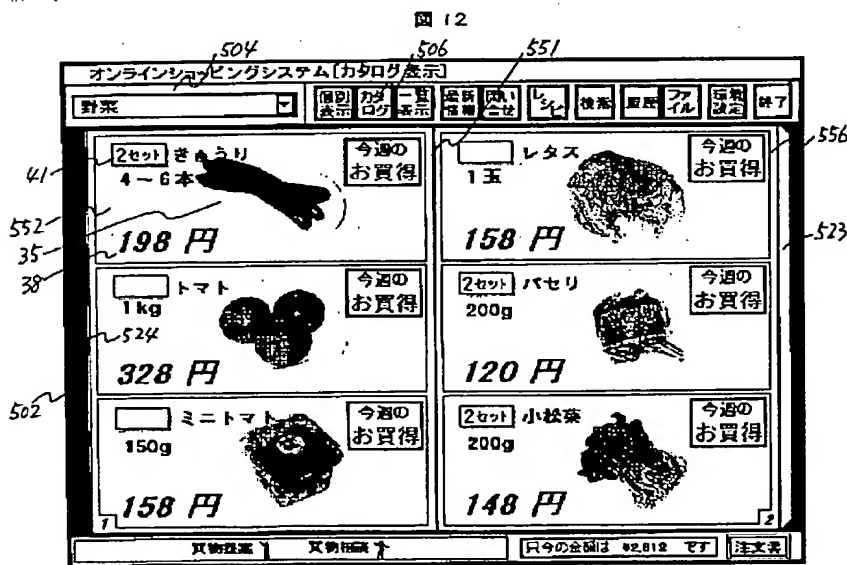
【図19】



【図28】

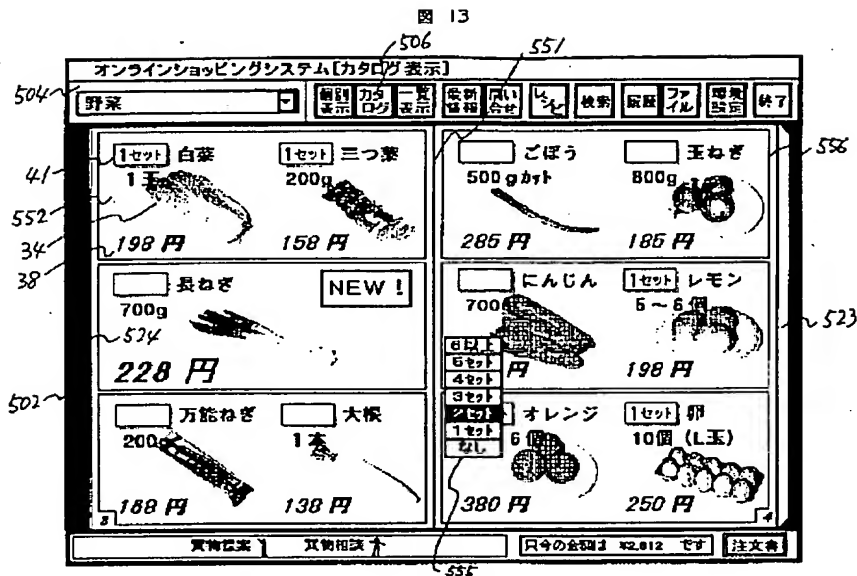
図 28

【図12】



(16)

【図13】

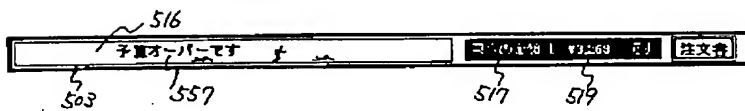


【図14】

図14

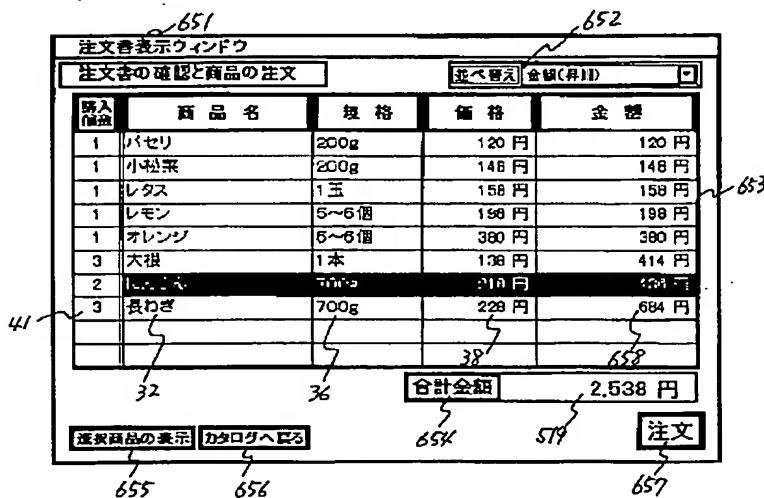
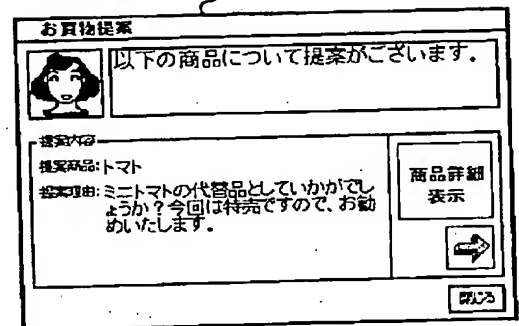
【図30】

図30



【図18】

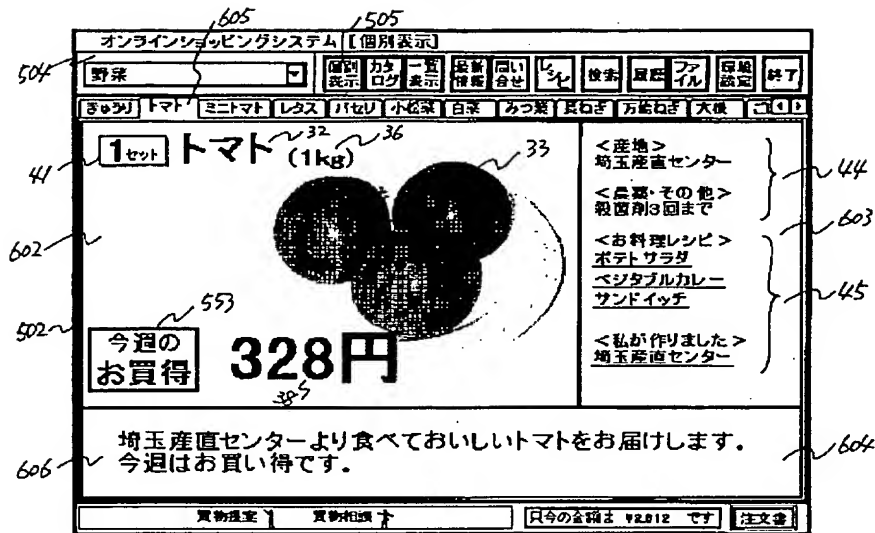
図18



(17)

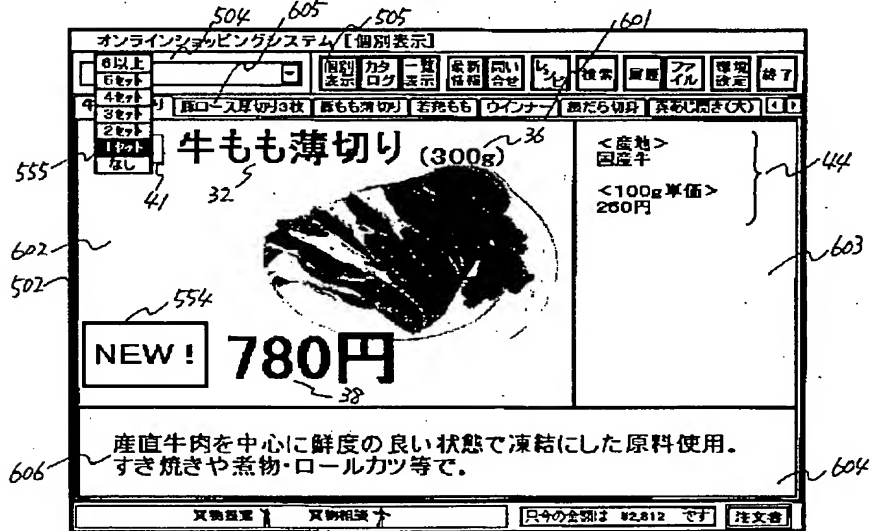
【図15】

図 15



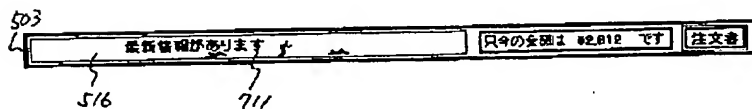
【図16】

図 16



【図26】

図 26



(18)

【図17】

図 17

オンラインショッピングシステム【一覧表示】

504

555

44

32

507

631

38

36

632

633

634

商品名	規格	価格
肉・魚		
6以上		
4以上		
3以上		
2以上		
1以上		
全品		
商品名	規格	価格
牛もも薄切り	300g	780 円
豚ロース厚切り3枚	300g	650 円
豚もも薄切り	300g	398 円
若鶏もも	300g	350 円
ウインナー	130g×2	358 円
鶏だら切身	3切240g	550 円
真あじ開き(大)	3枚420g	440 円
子持ち浅海かれい切身	2切200g	360 円
ブラックタイガー(L)	300g(14~17尾)	780 円

買物提案 買物相談 買物の金額は ¥2,812 です 注文書

【図20】

図 20

図 20

お買物提案

671

672

32

673

674

675

676

677

以下の商品について提案がございます。

提案内容

提案商品: マヨネーズ

提案理由: 約6週間ごとに御購入されています。そろそろ御購入されてはいかがでしょうか?

前回購入日: 4月15日

前回購入価格: 400円

商品詳細表示

戻る

【図2.1】

図 2.1

図 2.1

お買物相談

681

32

682

683

684

685

選択されている商品「きゅうり」について、以下の観点からアドバイスいたします。

相談内容

安い? いったい買った? 予定は? 日持ちは? おいしい?

5月分の食費予算、カタログ1回分の注文金額、共に、予算的に問題ありません。現在の注文書の合計金額を差し引くと、5月分の予算残高は18,345円です。

戻る

【図29】

図 29

図 29

503

516

633

買物提案 買物の金額は ¥2,812 です 注文書

22

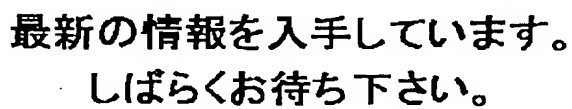
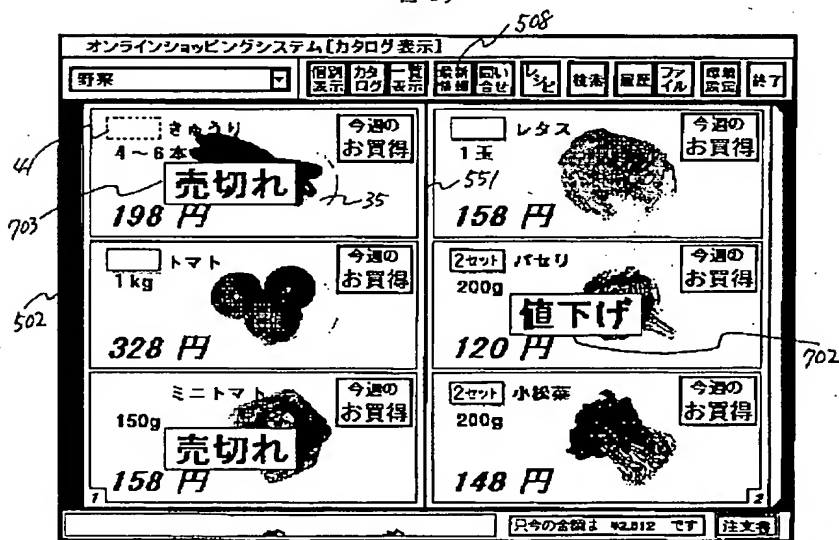


圖 23



只今の金額は 42,512 です

(20)

【図24】

図 24

オンラインショッピングシステム【個別表示】

野菜

きゅうり トマト ミニトマト レタス パセリ 小松菜 白菜 みつ菜 長ねぎ 万能ねぎ 大根 ごぼう

トマト (1kg) 601

売切れ

今週のお買得 **328円**

埼玉産直センターより食べておいしいトマトをお届けします。
今週はお買い得です。

埼玉産直センター

＜産地＞
埼玉産直センター

＜農薬・その他＞
殺菌剤3回まで

＜お料理レシピ＞
ポテトサラダ
ベジタブルカレー
サンドイッチ

＜私が作りました＞
埼玉産直センター

只今の金額は ¥2,012 です

【図25】

図 25

オンラインショッピングシステム【一覧表示】

肉・魚

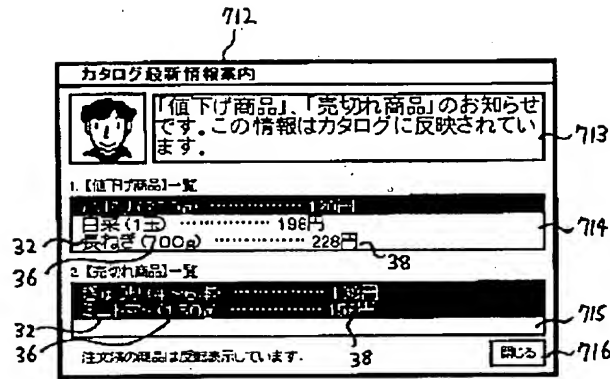
購入 個数	商品名	規格	価格
売切れ	きゅうり	4~6本	特価 198円
1	トマト	1kg	特価 328円
売切れ	ミニトマト	150g	特価 158円
	レタス	1玉	特価 158円
1	パセリ	200g	値下げ 120円
	小松菜	200g	特価 148円
	白菜	1玉	値下げ 198円
1	みつ菜	200g	158円
	長ねぎ	700g	値下げ 228円
2	万能ねぎ	200g	168円
1	大根	1本	138円
	ごぼう	500gカット	285円
1	玉ねぎ	800g	185円
	にんじん	700g	216円
	レモン	5~6個	198円
	オレンジ	6~8個	380円

只今の金額は ¥2,012 です

(21)

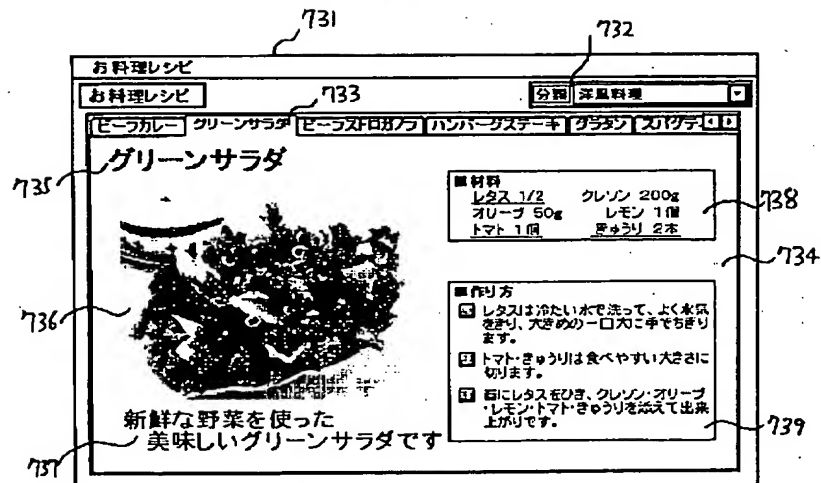
【図27】

図 27



【図31】

図 31



(22)

【図32】

図 32

751

購入履歴

752 並び替え 全降(昇順)

753 表示期間 1 週間前 ~ 4 週間後

754 表示商品名 全ての商品

755 4/22・月 4/23・火 4/24・水 4/25・木 4/26・金 4/27・土 4/28・日

商品名	規格	価格	数	金額
756	757	758	759	760
レモン	5~6個	298円	10	2,980円
たけのこ水煮	1800g	1,200円	4	4,800円
さくらんぼ	230g	160円	6	960円
32	36	38	41	658

757 選択商品の表示

758 カタログへ戻る

【図33】

図 33

771

個人カタログ表示ウィンドウ

772 並び替え 購入履歴(昇順)

773 個人カタログ

購入履歴	商品名	規格	価格	購入履歴	数量
1	774	775	776	777	778
1	ボカリスエット	350ml x 3	234円		
2	アセロラドリンク	170ml x 2	176円		
	アイスの実	14個入り x 3	268円		
	クリームパウダー	300g	412円		
1	甲	1.2kg	260円	64	2
	さやうり	4~6本	193円	63	2
	レタス	1玉	158円	65	2
1	牛もも薄切り	300g	780円		1
	オレンジ	5~6個	380円		2
32	36	38	41	658	

41 選択商品の表示

774 カタログへ戻る

775 個人カタログの追加/削除

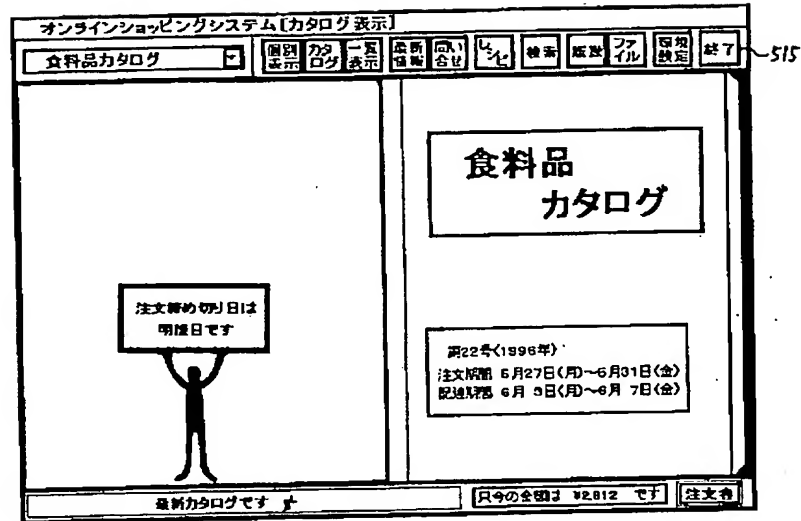
776 いつものリストの追加/削除

777

(23)

【図34】

図 34



【手続補正書】

【提出日】平成8年9月13日

【補正方法】変更

【手続補正1】

【補正内容】

【補正対象書類名】図面

【図12】

【補正対象項目名】図12

図 12



【手続補正2】

【補正方法】変更

【補正対象書類名】図面

【補正内容】

【補正対象項目名】図13

【図13】

(24)

図 15

オンラインショッピングシステム [カタログ表示]

野菜

1セット 白菜 1玉 198円	1セット 三つ葉 200g 158円	ごぼう 500g 1本 285円	玉ねぎ 800g 185円
長ねぎ 700g 228円	NEW!	にんじん 700g 198円	1セット レモン 5~6個 198円
万能ねぎ 200g 168円	大根 1本 138円	6個セット 5個セット 4個セット 3個セット 2個セット 1個セット オレンジ 6個 380円	1セット 卵 10個 (L玉) 250円

買物提案 買物相談 只今の金額は ¥2,812 です 注文書

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図15

【補正方法】変更

【補正内容】

【図15】

図 16

オンラインショッピングシステム [個別表示]

野菜

きゅうり トマト ミニトマト レタス パセリ 小松菜 白菜 かつ菜 長ねぎ 万能ねぎ 大根 ごぼう

1セット トマト (1kg) 328円

今週のお買得

埼玉産直センターより食べておいしいトマトをお届けします。
今週はお買い得です。

＜産地＞
埼玉産直センター

＜農薬・その他＞
殺菌剤3回まで

＜お料理レシピ＞
ポテトサラダ
ベジタブルカレー
サンドイッチ

＜私が作りました＞
埼玉産直センター

買物提案 買物相談 只今の金額は ¥2,812 です 注文書

【手続補正4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図16

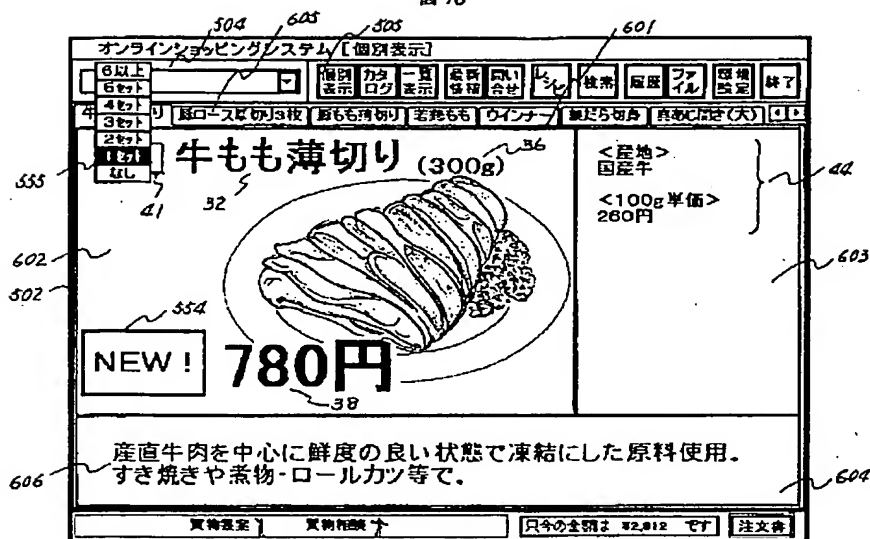
【補正方法】変更

【補正内容】

【図16】

(25)

図 16



【手続補正5】

【補正対象書類名】図面

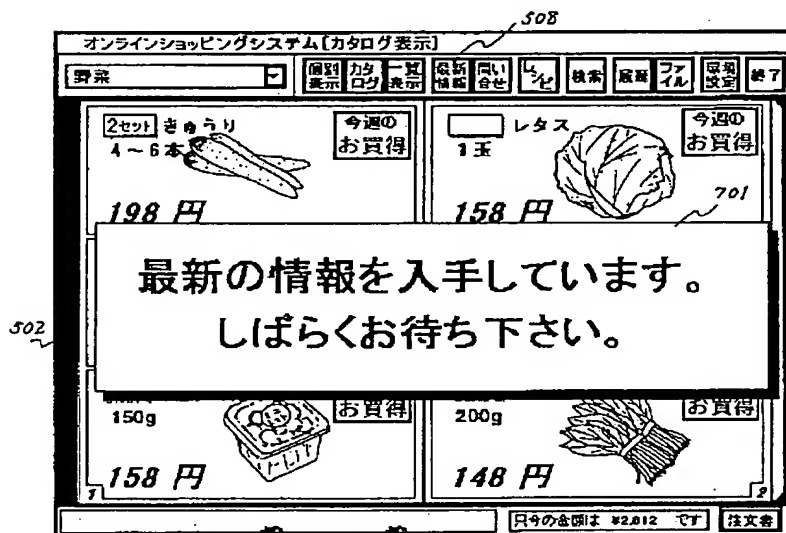
【補正対象項目名】図22

【補正方法】変更

【補正内容】

【図22】

図 22



【手続補正6】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図23

【補正方法】変更

【補正内容】

【図23】

(26)

図 23

【手続補正7】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図24

【補正方法】変更

【補正内容】

【図24】

図 24

【手続補正8】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図31

【補正方法】変更

【補正内容】

【図31】

(27)

図 31

